

医学生になる

医学部 合格体験記 2024

静岡県

令和6年7月発行

静岡県健康福祉部医療局
地域医療課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6
電話 054-221-2868



イベント情報などを掲載しています！
こころざし育成セミナー、先輩医師からのアドバイス、地域種大学の紹介など



(ふじのくに地域医療支援センター HP)



はじめに

県民の皆様が末永く健やかな生活を送る上で、医師の確保は最も重要な課題の一つです。

このため、静岡県では、全国最大規模の実績を誇る医学修学研修資金の貸与（条件を満たせば全額返還免除）をはじめ、県内外10大学への地域枠の設置等、医師の確保に向けた各種の取組を行っています。

本書では、実際に医学部に合格された先輩達が、それぞれの合格までの道のりや勉強で工夫した点などを紹介してくださっています。

より多くの皆さんが、本書を参考として、将来、静岡県内で活躍する医師を目指していただくよう願っています。

静岡県 地域枠の御紹介

地域枠は、静岡県医学修学研修資金の貸与を受け、将来は県内で活躍する医師となることをこころざす受験生のため、一般の入学枠とは別枠で選抜する入学定員枠です。

静岡県は、全国10大学に地域枠68枠を設置し、各大学と協力して、本県の地域医療に貢献する医師の育成を行っています。



日本大学
(静岡県地域枠定員3名)



順天堂大学
(静岡県地域枠定員5名)



昭和大学
(静岡県地域枠定員8名)



日本医科大学
(静岡県地域枠定員4名)



帝京大学
(静岡県地域枠定員2名)



東海大学
(静岡県地域枠定員3名)



浜松医科大学
(静岡県地域枠定員15名)



近畿大学
(静岡県地域枠定員10名)



関西医科大学
(静岡県地域枠定員8名)



川崎医科大学
(静岡県地域枠定員10名)

目次

1	日々の成長を楽しみ、勉強を楽しむ 順天堂大学医学部合格 渡邊 維香さん(沼津東高校卒).....	3
2	夢に向かって進め。勇気を持ち続けなければ失うものは何もない 日本大学医学部合格 秋山 裕亮さん(磐田東高校卒).....	5
3	意志あるところに道は開ける 浜松医科大学医学部合格 石崎 秀尚さん(静岡高校卒).....	7
4	あきらめないで一歩ずつ進めばいい 浜松医科大学医学部合格 児玉 心さん(静岡北高校卒).....	9
5	受験勉強は早いうちから 近畿大学医学部合格 長倉 由喜さん(静岡東高校卒).....	11
6	最後まで諦めずに頑張ってください！ 東海大学医学部合格 土屋 裕生奈さん(沼津東高校卒).....	13
7	不撓不屈 帝京大学医学部合格 渡辺 陽菜さん(豊島岡女子学園高校卒).....	15
8	医学部受験頑張れ！！ 関西医科大学医学部合格 吉田 佳悟さん(磐田南高校卒).....	17
9	心の思うままに 関西医科大学医学部合格 小出 陸翔さん(磐田南高校卒).....	19
10	全部気持ち 昭和大学医学部合格 内藤 慶志さん(沼津東高校卒).....	21
11	医学部受験は文字通り人生が変わる 日本医科大学医学部合格 古屋 海凧さん(加藤学園高校卒).....	23
12	息抜きは大事！ 川崎医科大学医学部合格 五十嵐 慶さん(加藤学園暁秀高校卒).....	25
13	自分との戦い 川崎医科大学医学部合格 福田 智志さん(日本大学三島高校卒).....	27
14	理系は数学が肝心 自治医科大学医学部合格 新槇 啓さん(加藤学園暁秀高校卒).....	29
15	受験にフライングはありません 自治医科大学医学部合格 宮地 永さん(磐田南高校卒).....	31
16	静岡県医学修学研修資金制度.....	33

日々の成長を楽しみ、 勉強を楽しむ



● **順天堂大学医学部合格** 渡邊 維香さん (沼津東高校卒)

● **得意科目：生物** ● **苦手科目：英語**

医学部を目指したきっかけは何ですか？

きっかけは、小学生の頃に見た医療ドラマの影響です。自分の手で多くの人の命を救ったり、人々の支えになったりすることができる医師という職業の魅力に惹かれました。その後、自分が怪我をした時や祖母が癌になった時に医師の仕事を目の当たりにしたことなどを通じて、徐々に医師になりたいという

気持ちが強まってきました。自分の通っていた沼津東高校の理数科には、医学部志望の仲間も多かったです。私は、両親が医師というわけではなかったですが、周りの仲間と共に受験勉強をすることを通して、医学部に行きたいという気持ちがより強固なものになったと思います。

おすすめの勉強方法や、心がけた点など教えてください。

私は、家の近くにある映像授業の塾に加えて、医学部受験専門塾の個別授業をオンラインで受けていました。映像授業の塾では、入試問題を解くために必要な知識や解法をインプットしたり、大量の過去問演習をしたりしました。個別授業では、自分の苦手な単元や医学部の入試問題の特徴を集中的に教わりました。このように、それぞれの目的を考えて塾や教材を使い分けられたことが合格につながったと思います。

受験勉強において最も大切なことは、過去問などの個別対策です。受験が近づいた頃から本格的に過去問演習を行うことになるとは思いますが、その際に意識すべきことは復習の質です。私は、過去問を解いた後に、間違えた問題や自信を持って解けなかつ

た問題で「なぜ間違えたのか。」「次同じような問題が出た時に間違えないためにどうしたら良いか。」をじっくり考えて書き出すようにしていました。計算ミスなどのいわゆる「凡ミス」も同様です。計算を行った後の数字の転記ミスなどについても、次に同じミスをしない工夫を考えていました。問題に対して丁寧に向き合い、一つ一つの問題から学びを得るという心構えが非常に重要だと思います。

学習習慣を作ることも非常に重要です。私は、平日は学校で、休日は近くの飲食店で朝7時から勉強し始めることを習慣にしていました。自分がベストパフォーマンスで勉強ができる習慣をつけていくことも受験勉強の中で重要な要素です。

試験当日の感想やエピソードなどあれば教えてください。

私は私立の医学部を複数校受験しましたが、やはり、最初の試験日はかなり緊張しました。受験会場には想像の何倍もの人がいます。その中で実際に合格をもらえる人は何人で…などと考えず、とにかく試験問題に集中することがとても重要です。周りを気にせず試験問題に集中するということは、複数回の受験日程をこなしていくにつれて体得できたように感じます。

試験前日は、試験会場までの道を歩いたり、母親と美味しいものを食べたりしていま

した。メンタルを試験に向けて備えるためにも、いつものように集中して勉強するのではなく、暗記ものを少しやるだけだったと記憶しています。

入試は1点が結果を大きく左右します。よって、試験中は最後まで考え抜き、1点でも多くとるという気持ちが重要です。本番に限っては、答えが分からない時や時間がない時に、とにかくマークシートを埋めることも作戦の一つだと思います。

受験全体を振り返っての感想をお願いします。

受験勉強では自分自身に向き合わなければならぬ時間がとても多かったです。なかなか学力の伸びを実感することができず、ひどく落ち込んだり体調を崩したりすることは少なくなかったです。受験期には、そういった時に助けてくれたり適切なアドバイスをくれたりする仲間の存在が重要だと思います。

私が一番印象に残っている受験期の思い出は、受験直前のクラスの雰囲気です。受験本番に対する大きな焦りを抱えている時期

ではありましたが、それまでの3年間と変わらない日常をクラスの仲間と過ごせたことで心の平静を保つことができたと思います。「受験は団体戦」という言葉は本当です。私は受験勉強の間、多くの人に支えられました。朝早くから夜遅くまで一緒に勉強してくれた友達や、数えきれないほどのサポートしてくれた両親、常に適切なアドバイスをしてくださった高校の先生など、たくさんの方のおかげで志望校に合格できたと思います。

受験生に向けてメッセージをお願いします。

医学部を目指すことは、受験が終わっても勉強をし続ける覚悟を持つということです。私は受験期に学力を大きく伸ばすことはできなかったのですが、日々の小さな成長を喜び、

勉強を楽しむことができました。受験生の皆さんが毎日の勉強を大いに楽しみ、夢に向かって勉強した日々がかけがえのないものだったと思えるようになることを祈っています。



夢に向かって進め。 勇気を持ち続ければ失うものは何もない

● **日本大学医学部合格** 秋山 裕亮さん (磐田東高校卒)

● **得意科目**: 化学、生物 ● **苦手科目**: 英語

医学部を目指したきっかけは何ですか？

化学や生物を学ぶ中で、人体について興味を持ったことが医学部を目指すきっかけでした。どのようにしてヒトは生きているのか、なぜ死ぬのかという疑問を持ち、体の仕組みや病気についてより詳しく学びたいと思いま

した。また、避難訓練ボランティアやテレビ番組で救急医に憧れを抱いたことも医師を目指すきっかけでした。多くの人の命を救うと共に、大切な人たちを守れるような救急医になりたいと思い、志望するようになりました。

おすすめの勉強方法や、心がけた点など教えてください。

勉強の最終目標は、問題を解けるようになることではなく、問題を誰かにわかりやすく説明できるようにすることです。誰かに教えたり、文章でまとめたりすることで、知識が整理され、長期記憶として定着しやすくなります。実際に誰かに説明しなくても、問題を解いた後に脳内で説明してみるだけでも効果は大きいと思います。私の場合は、数学や英語は脳内で、化学や生物は白紙に文章やイラストでまとめることが多かったです。説明できなければ、理解が足りていないことがすぐに分かるのも、この勉強の利点です。勉強するにあたって心がけていたことは、どれほど苦手な教科であっても、嫌いだと思わないようにすることです。嫌いという大きな壁は、学習意欲だけでなく、記憶力も低下させてしまいます。嫌いが苦手を生み、その苦手さがさらに嫌いを生む、負の連鎖です。苦手だと思っても、諦めず勉強を続ければ、受験当

日までには克服できたり、得意になっていたりすると信じてください。足し算を習ったばかりの頃は難しかったけれど、今では当然のようにできるようになっていると思います。それと同じです。学び始めは難しく当然ですが、勉強を続ければできるようになるのも当然でしょう。ただ、克服するのにかかる時間は人それぞれです。そのため、早いうちから勉強したり、1日の勉強時間を増やしたりすることも大切です。苦手でも嫌いとは思わず、勉強時間を多く確保しましょう。

また、都会と田舎で情報の格差があることは理解しておいてください。浪人期間中、私は神奈川県の前橋校へ入校しました。そこで最も感じたことはこの格差です。私と同様に、友人も同じ感想を持っていました。何をどこまで勉強するべきなのか、あらゆる手段を使って、正しく情報を得ることは、情報戦でもある医学部受験には必須だと思います。

試験当日の感想やエピソードなどあれば教えてください。

合格した日本大学の試験についてです。1次試験は、英語・数学・理科2科目のマーク式問題でした。例年通りの問題傾向・難易度だったので、落ち着いて取り組みました。ただ、全学統一方式なので、難易度は易しいですが、ミスが許されないというプレッシャーがありました。さらに、生物は、正しい選択肢をすべて選ばなければならず、解答してもずっと不安がつきまといました。過去問対策をしっかりしていたため、時間に余裕をもつことができ、これらの緊張や不安が少し軽減されたように思います。2次試験は、英語・数学の記述問題と15分間の面接でした。数学は基礎問題で、問題を見てすぐに解法がすべてわかったので、丁寧に計算をしました。一方、英語は3つの長文で、非常に難しく感じました。面接は、かなり対策をしていたため、会話につまることなく、過去最高のパフォーマンスでできたと思います。圧迫面接になることを恐れていましたが、全くそうしたことはなく、面接官の方々

が優しく声をかけてくださり、場を和ませてくれたので、自分の想いを伝えやすかったです。

受験全体で印象的だったエピソードが2つあります。1つ目は、トイレの行列でテスト終了時間がかなり遅延したことです(約1時間)。どの試験日も、休み時間のトイレはとても混雑します。退出できるようになったら、すぐトイレに行ったり、飲食を控えたりするなど、トイレ対策は必要だと思います。私は、試験会場内では飲食はしないようにしていました。2つ目は、生物では答えとなる選択肢を取って削除するように、物理では有効数字を変えるように、訂正用紙にて変更があったことです。生物を解きましたが、訂正用紙にあまり目を通していなかったため、2つ選択肢を選んで解答していました。その後、訂正用紙を読んで、2つのうち1つ選択肢を削除するように指示されていたことに気づきました。訂正用紙を読んでいなかったら、無駄に点数を落とすところでした。医学部受験では、こうしたことも起こるのかと驚きました。

受験全体を振り返っての感想をお願いします。

2年間の浪人生活はとても長く、不安でいっぱいの日々でしたが、多くの学びがありました。自分にあった勉強法を見つけられたり、長時間集中できる体力を身につけられたりと、受験期に得たことが、現在の医学部生活にも活かしています。また、自分のことを再度見つめ直す期間でもありました。面接対策で、自分の強みや弱み、志望理由などを具体

的にまとめたことで、自分を理解すると共に、医学を学ぶモチベーションが高まりました。さらに、医療団体が企画していた模擬面接に参加したことで、その団体の方々との関係を持つことができ、勉強会や医療活動にも参加できています。大変な受験期ではありましたが、その分得られたものは多かったと思います。

受験生に向けてメッセージをお願いします。

本当に医学部に行きたいのであれば、絶対に諦めないでください。自分の人生です。今、何をすべきか常に考え、後悔することが

ないように、また自分の人生に責任が持てるよう行動をしてください。皆さんの思いと行動が、受験勉強の原動力です。

意志あるところに道は開ける



● **浜松医科大学医学部合格** 石崎 秀尚さん（静岡高校卒）

● **得意科目**：物理、英語 ● **苦手科目**：数学

医学部を目指したきっかけは何ですか？

私が医師を志したきっかけは、休日、深夜、早朝にかかわらず患者さんのために病院に駆けつける医師である父の姿です。私も、将来、かけがえのない人の命を救うことに一生懸命になれる医師になりたいと思って

いました。静岡県の医師不足、医師の偏在のを知り、医師として静岡県のどの地域に暮らす人々でも安心して暮らせるように役に立ちたいとも思うようになりました。

おすすめの勉強方法や、心がけた点など教えてください。

私が勉強において心がけていたことは、学校の授業、小テスト、定期テストにおいてどの教科も手を抜かず、丁寧に真摯に取り組むということです。そのために、授業に集中し、出された課題もしっかりとこなすようにしました。サッカー部の活動も学校の行事も思い切り、全力で楽しみたいと思っていたので、限られた時間を大事に使うために、計画を立てて進めました。一日の計画、一週間の計画を立て、その計画の中には必ず予備の時間を入れ、勉強の時間を確保しました。そのようにしていく中で、基礎力はついていったと思います。

部活動引退後の5月から、本格的な受験勉強を集中して始めました。特に、一日中自分のために使える夏休みは、理科2科目、地理を集中して勉強し、数学は公式を一度

すべて書き出して見直し、その後、発展問題にも取り組みました。秋からは目指す大学に向けて、どの教科も自分の弱点を割り出し、一つ一つの分野の強化に努めました。

共通テストに向けては、学校での対策と自分で購入した問題集で多くの共通テストの問題を解き、各教科のパターンを把握し、時間配分などを調節するようにしました。共通テスト終了後は、浜松医科大学の推薦入試に向けての勉強に力を注ぎました。過去問、履修していない生物、小論文、プレゼンテーションを含む面接の対策をしました。高校の先生方に添削をしていただいたり、プレゼンテーションの練習に付き合っていたりしました。小論文とプレゼンテーションでは、医療の専門用語やトピックスなどを学び、試験で使うように意識しました。

試験当日の感想やエピソードなどあれば教えてください。

これから受験を進めるうえでの第一関門である共通テスト前は、特に精神的に緊張が高まり、不安が募りました。そこで、新しい問題には目を向けず、化学や物理、地理を見直す程度にして、第一に、心身のコンディションを万全にするように整えました。当日は、前向きな気持ちを持つようにして、試験に臨みました。それによって、落ち着いて問題を解くことができ、それまでで一番良い結果を

得ることができました。

浜松医科大学の推薦入試では、その対策で学校の先生方にも協力していただいたことで自信をもって試験に取り組むことができました。面接では、試験を始める前に世間話をしてくださるなど、リラックスして面接を受けることができる雰囲気でした。プレゼンテーションや面接では自分の意見や思いをしっかりと伝えることができました。

受験全体を振り返っての感想をお願いします。

部活引退後、友人とともに自習室に通ったり、分からない問題を教えあったり、時には気分転換に体を動かしたりと、共に受験に向かって頑張る友人たちの存在は特に大きな力

となり、安心できました。また、いつも応援してくださった先生方、支えてくれた家族にも感謝しています。立派な医師となり必ず恩返ししたいと思います。

受験生に向けてメッセージをお願いします。

受験勉強をしている中で、時にどうしようもなく不安になることや迷いが出るのが何度かありますが、自分の目指す進路が決まった

ら、目指す先だけを考えて前向きな気持ちを持ち、頑張ってください。周りの友人と共にお互い励まし合いながら！

あきらめないで 一歩ずつ進めばいい



● **浜松医科大学医学部合格** 児玉 心さん (静岡北高校卒)

● **得意科目: 英語** ● **苦手科目: 数学**

医学部を目指したきっかけは何ですか？

私は、幼少期からピアノを習っていたのですが、とても好きな先生が妊娠を機に体調不良になり、その先生に教わることができなくなってしまいました。妊娠・出産は他の疾患と比べて多くの女性が経験しますが、それ

が原因で、元気だった女性が一気に体調が悪くなり、今までどおりの生活を送ることが難しくなってしまう現状を変える必要があると思ったからです。

おすすめの勉強方法や、心がけた点など教えてください。

苦手だった数学についてですが、分からなかったり間違えたりした問題をできるまで何度もやり続けることだと思います。何度も同じ問題で間違えると心が折れそうになったり、

できる問題をやりたくなくなったりしてしまうことがあると思いますが、伸びしろはそこにあると言い聞かせ、できるまで何度も取り組み続けました。

試験当日の感想やエピソードなどあれば教えてください。

特に対策してきた微分積分が出なかったこともあり、数学が全然できなかったです。浜松医科大学はやったこともないような応用問

題が多く出題されるため、自分が受かったか落ちたかは全然わからないまま次の日の面接に臨みました。

受験全体を振り返っての感想をお願いします。

私は二浪し、遠回りはしましたが、無駄なことは何もなかったと思います。能動的に自分で勉強し続ける力がついたと思います。そして、この力は今後も成長し続けるために必要な能力です。ちょっとずつ進み続ける、嫌

なことがあっても逃げないで少し踏ん張ってみる等、受験科目だけではなく、多くのことを勉強し身につけた大切な期間だったと思います。

受験生に向けてメッセージをお願いします。

なぜきつかった受験を乗り越えることができたかという、絶対に医師になって困っている人を救いたいという強い意思があったからだと思います。受験勉強でつらいことがあったら、将来何をしたいかを思い出して、ちょっ

と休憩して、それからもう一回頑張ってみてください。一日に大きく進歩する必要はなく、ちょっとずつ進歩できればいいですし、それしかできないと思います。大学はとても楽しいですよ！

受験勉強は早いうちから



● **近畿大学医学部合格** 長倉 由喜さん (静岡東高校卒)

● **得意科目: 化学** ● **苦手科目: 国語**

医学部を目指したきっかけは何ですか？

幼い頃に父親を病気で亡くし、これまでの人生のなかで何度も父親が生きていたら、と思う時がありました。そのような経験から、自分と同じような思いをする人を1人でも減らしたい、医療の観点から人を助けたいと思い、医学部を志望しました。

おすすめの勉強方法や、心がけた点など教えてください。

英語は、単語と文法など基礎の徹底は欠かせないと思います。長文を読むにしても、単語や文法を知っていないと正確に速く読むことはできないと思います。そして、長文読解の復習も大切です。長文の中には多くの単語や文法が入っており、基礎の復習にもつながりますし、自分が知らない単語に出会うこともできます。音読など、声を出しながら学習するとより効果があると思います。英語は一朝一夕でできるようになる科目ではないので、腐らず勉強を続けることが大切だと思います。

数学は、問題を見た時に自分で方針を決めることができるまで復習することが大切だと思います。そのうえで、計算ミスがなく正確な計算を心がけることが点数につながると思います。

理科は、私は化学・物理選択でしたが、

解法を人に説明できるようになるまで理解することを大切にしていました。全ての教科に共通していることだと思いますが、人に説明できるということは理解していることの証明だと思います。暗記だけに頼っていると、いつか解けない問題に出会います。そのため、原理・原則を頭に入れることが大切です。原理・原則を理解することで暗記量も減らせますし、暗記した内容を忘れないようになります。

試験当日に自分の実力をすべて出し切るのは大変だと思います。緊張や不安、会場の雰囲気、体調などの要因により自分が本来取れるであろう点数より下がると思います。そのため、受験勉強では合格最低点を目標にするのではなく、2~3割増しくらいの点数がとれるように勉強するのがいいと思います。

試験当日の感想やエピソードなどあれば教えてください。

緊張や会場の雰囲気に飲み込まれてしまいそうになりますが、会場にいるみんなが同じ気持ちです。他人のことは気にせず、1点でも多くとれるように復習することが大切だと思います。そして、家や宿泊先に帰ってからその日の問題の解きなおしをしたほうがいいと思います。もし間違えていても、次の試験の糧になることが多くあると思います。

受験全体を振り返っての感想をお願いします。

受験期には成績が伸びずに苦しいことが多くありました。自身を律することに、多くのストレスがかかっていました。しかし、そのような状況を乗り越えられたということは、自分が人として成長できたということだと思います。苦しい時期に自分を助けてくれた家族には、とても感謝しています。

受験生に向けてメッセージをお願いします。

人生百年時代である中で、受験勉強をするのはほんの数年間です。体調を崩し、精神が不安定になるほど追い込まれてしまわないように、早くから勉強を始めることをおすすめします。受験勉強を乗り越えた先には楽しい大学生活が待っているの、頑張ってください。

最後まで諦めずに 頑張ってください!



● **東海大学医学部合格** 土屋 裕生奈さん (沼津東高校卒)

● **得意科目**: 化学 ● **苦手科目**: 物理、数学

医学部を目指したきっかけは何ですか？

母が看護師であり、親族に医療従事者が多かったこと、誰かと関わり役に立てる職に就きたいという思いから、医療の道に興味を持ちました。幼い頃に喘息の治療をしてくだ

さった小児科の先生への憧れから、医療に関する様々な仕事の中でも、医師になりたいと強く思うようになり、医学部を目指すようになりました。

おすすめの勉強方法や、心がけた点など教えてください。

私は自身の失敗から3つのことをおすすめします。

1つ目は、復習を定期的に行うことです。私は高校1、2年生の頃、復習するのは定期テスト前だけでした。定期テストはどうか乗り越えていましたが、定期的に復習をする習慣がなかったので、高校3年生になり、模試で苦戦するようになりました。反省をもとに、浪人時はその日学習したこと、一週間前に学習したことを毎日必ず復習するようにしました。それ以外にも理解度に合わせて定期的に復習することを心がけました。

2つ目は、自分のレベルに合わせた学習をすることです。私は高校生の時、文化祭の係活動ばかりしていて、全くといっていいほど勉強をしていませんでした。文化祭が終わり、高校3年生の5月末から受験勉強を始めましたが、どの教科も基礎が不十分な状況でした。化学は暗記すべきところもほとんど

暗記できていない状態、物理は何も理解せずに公式を暗記しただけの状態でした。しかし、周りと比較して大きく遅れをとっていたことから焦りを感じ、基礎が不十分な状況で問題演習ばかりやっていました。そのため、いくら問題を解いてもただ問題の解答を丸暗記しているだけの勉強になっていました。浪人時は、化学はまず教科書を読み込んでからアウトプットをするということを意識し、物理は公式を覚えるのではなく、導けるようにした状態で問題演習に取り込むということを意識しました。

3つ目は、時間を有効活用することです。特に浪人の1年間は片道2時間かけて予備校に通っていたため、通学中に単語やリスニングの演習をやっていました。また、私は苦手なものから逃げたがちなため、午前中のうちに苦手なものをやるようにしていました。自分の性格に合わせて、計画を立てる

ことも大切だと思います。

試験当日の感想やエピソードなどあれば教えてください。

浪人時の共通テストの会場は初めて訪れた場所で、知り合いが全くいないという状況でした。また、両親と「浪人は1年間だけ」という約束をしていたため後がなく、とても緊張したことを覚えています。それでも、1日目は落ち着いて取り込むことができました。しかし、いつも点数を稼いでいた2日目の最初の数I Aで失敗してしまい、それを数II Bにも引きずってしまいました。なんとか、理科では切り替えることができましたが、正直、終わっ

たなど感じました。しかし、苦手な科目で点数を稼ぐことができ、苦手科目から逃げなくてよかったなと思いました。

2次試験は小論文、面接という順番で行われました。私は面接がトップバッターだったため、小論文が終わってからの時間がほとんどなく、ひどく緊張した状態で面接を迎えてしまいました。地域枠では面接が2回行われますが、2回目の面接で挽回し、無事に合格を勝ち取ることができました。

受験全体を振り返っての感想をお願いします。

現役時は模試でE判定ばかりでした。浪人時は最初にいい点数を取れたものの、6月から直前の11月までどんどん成績が下がってしまいました。何度も医学部受験を諦めそうになりましたが、応援してくれる人がいて、最後まで自分ならできると信じていたからこ

そ、約1ヶ月で共通テストの点数を100点以上伸ばし、合格することができました。支えてくれた家族や友人、予備校の先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。そして、最後まで諦めなくて本当に良かったと思います。

受験生に向けてメッセージをお願いします。

受験勉強は、正直辛いことばかりだと思いますが、最後まで自分を信じて頑張ってください。

いい。応援しています。



不撓不屈

● **帝京大学医学部合格** 渡辺 陽菜さん (豊島岡女子学園高校卒)

● **得意科目: 物理** ● **苦手科目: 化学**

医学部を目指したきっかけは何ですか？

私が医学部を目指したのは、小学生の時にひどく膝を痛めたことがきっかけです。突然、車椅子を利用するほどの痛みで苦しみ、歩けなくなってしまう不安でいっぱいになりました。担当して下さった先生は、不安な気持ち

ちに寄り添って、懇切丁寧に診察して下さいました。このことをきっかけに、患者さんに寄り添える医師になりたいと思い、医学部を目指しました。

おすすめの勉強方法や、心がけた点など教えてください。

おすすめの勉強方法は、基礎的な事項を徹底して理解することです。医学部の受験では、基礎問題を取りこぼさないことが合格への大きなカギとなると思います。医学部の受験生は基礎問題で確実に得点するので、ここで差をつけられないことが重要です。そのために、教科書に載っている定理や公式の証明、物理現象のイメージなどの基礎的な事項を深く理解することを心掛けました。これにより、思考力が身に付き、応用力も向上していきました。現役生の時は基礎を疎かにしてしまい応用問題ばかりに取り組んだ結果、なかなか成績が向上しませんでした。浪人生になってからは基礎的な事項を集中して勉強したことで成績も向上し、合格へ近づくことができたのだと思います。

学習計画を立てることも私にとっては有効でした。1日の詳細な予定を立てることによ

て、ノルマを明確にし、それを目標に勉強しました。また、後日、学習計画を見返すことで勉強した教科の偏りや、時間をかけすぎている単元等を確認して勉強方法を見直しました。この方法は、勉強意欲のアップにもつながりました。さらに、試験の一か月前からは試験当日のスケジュールに合わせて起床したり、問題を解いたりする計画を立てました。試験当日のイメージトレーニングにつながることも、気持ちが一層引き締まり勉強に集中できました。

また、過去問を計画的に解くことも重要です。大学によっては、出題分野が隔年になっているなど出題傾向がはっきりしていて対策がとりやすい場合もありますし、また時間配分を事前に確認することで試験当日に焦ることもなくなります。私は、受験直前期に過去問を解き始めたため、十分な対策ができて

ましたが、特に志望順位の高い大学については早い時期からの過去問の活用をおすすめします。

試験当日の感想やエピソードなどあれば教えてください。

一次試験当日は平常心を保つため、いつもと同じ行動をするように心がけました。具体的にはいつもどおりおにぎりやチョコレートを食べるなどして、少しでもリラックスできるようにしました。それでもやはり、いざ試験が始まると難問に直面し、焦りや不安が募りました。ここで深呼吸をして気持ちを切り替え、確実に得点できそうな問題を取りこぼさないように心がけました。試験会場で友人を見かけましたが、お互いの集中力が途切れてしまうといけなと考えて、話しかけることは控え、試験に集中しました。

二次試験の面接試験においては、私が小学生から抱き続けている絶対に医師になりたいという強い気持ちをもって臨みました。緊張から、途中で言葉に詰まってしまうこともありましたが、自分の熱い思いが面接官に

伝わるように丁寧に受け答えすることを心掛けました。私は二次試験の対策を一次試験合格後の約1週間で行いました。自己分析、志望理由の整理から始めて、その後面接の対策本を使用して、典型的な質問、過去の質問事例への回答の骨子をまとめていきました。試験2日前には予備校の模擬面接を受講しました。試験の雰囲気や体感したり、面接態度、受け答え内容について細かに指導していただけたりと、とても有効でした。私の場合は二次試験対策がかなりタイトなスケジュールとなってしまったので、早めの対策をおすすめします。

また、私立大学では連日試験が続くので体調管理が重要です。試験直前期からはとにかく睡眠時間を十分にとること、マスク着用、室内の湿度管理を心がけました。

受験全体を振り返っての感想をお願いします。

私は浪人生活を経験しました。医学部に合格できるのかと、日々焦りと不安を感じていましたが、その中で私の支えとなってくれたのは同じ高校出身で同じ予備校に通う友人でした。もし友人の支えがなかったら、気持ち

ちがくじけてしまっていたかもしれません。お互いに第一志望校合格という同じ目標を持っている同士で励ましあい、また、高めあうことができました。切磋琢磨し、支えてくれた友人には感謝の気持ちでいっぱいです。

受験生に向けてメッセージをお願いします。

継続は力なり。最後の最後まで学力は伸びます。医学部を目指した強い気持ちを忘

れずに、決して諦めずに夢の実現に向けて頑張ってください。

医学部受験頑張れ!!



● **関西医科大学医学部合格** 吉田 佳悟さん (磐田南高校卒)

● **得意科目:** 数学、化学 ● **苦手科目:** なし

医学部を目指したきっかけは何ですか？

父が心筋梗塞で倒れた時、医師の診断、説明、治療がどれだけ患者本人やその家族に影響を与えるかを実感したからです。そして、コロナ禍以降、医師の仕事の過酷さや医師の不足について聞く機会がととも増えま

した。日常生活を送る上で、医師の存在がどれだけ大切であるかを知り、私自身が人に安心を与える存在になりたいと強く思いました。

おすすめの勉強方法や、心がけた点など教えてください。

まず基礎を完璧にすることが大切です。基本的な問題の解法や必要な知識を身につけることを最優先に勉強して、その後に、応用問題に取り組んでいくことで問題を解く力が身についていくと思います。しかし、早い段階で入試問題に触れることも大切です。本格的に入試対策を始めるまでに、過去問を1年分解いてみることをおすすめします。対策を始める段階で過去問を解くことで自分の実力を知ることができ、合格に向けた勉強

の計画を立てやすくなります。志望校の問題の難易度が高く、自信をなくしたり挫折しそうになったりすることもあるかもしれませんが、それでも、自分の志望校に行きたいという気持ちを強く持って、諦めずに頑張ってください。また、勉強をたくさんすることも大事ですが、ストレス発散を定期的にすることも大切だと思います。自分の心や体にも気遣いながら勉強をして、体調をベストな状態にしておくことを心がけていました。

試験当日の感想やエピソードなどあれば教えてください。

試験当日は緊張していましたが、テストが始まると問題を解くことに集中したのであまり緊張しませんでした。本番で時間が足りなくなるのはよくあることですが、普段から本番

を意識し、模擬試験や過去問などの演習を行うことで、入試でも力を発揮することができると思います。

受験全体を振り返っての感想をお願いします。

受験勉強は早く始めたもの勝ちだと思います。医学部受験では、共通テストの点数も大事になってくることが多いので12～1月に、2次試験の対策がおろそかになることがあると思います。いかに10月頃までに、2次試験の勉強を終えられるかが大切であると思

いました。

また、受験勉強を乗り越えるには友達の影響が大きかったです。成績が悪い時に支えてくれて、一緒に勉強してくれる友達を、いかに多くもてるかがメンタルの安定を維持するのに大事だと思います。

受験生に向けてメッセージをお願いします。

受験は大変ですが、自分のこれからの人生を決める大切な時期でもあります。志望校

に向けて全力で頑張ってください。

心の思うままに



● **関西医科大学医学部合格** 小出 陸翔さん (磐田南高校卒)

● **得意科目**: 数学、物理 ● **苦手科目**: 英語

医学部を目指したきっかけは何ですか？

人一倍責任感が強かったので、人の命のために頑張りたいと思ったからです。また、家族が病気になったとき、自分への無力感を覚えたからです。

おすすめの勉強方法や、心がけた点など教えてください。

数学は、基本的なことを忠実にやっています。基本的なこととは、計算のことです。三角比の計算や、対数の計算、微積の計算を毎日やることです。特に、微積計算は浪人生と現役生とで大きく差がつかます。

物理は、問題を解く前にできることがあると思います。同じ問題を何周もやることは必要ではないと思います。加速度とは何ですか。エネルギー保存の法則とは何ですか。電位・電場とは何ですか。答えが思いつかなかった人は、問題を解く前に定義を確認し

てみると良いと思います。

化学は、暗記が大切だと思います。私は、入試の話題になりやすいものはだいたい暗記していました。暗記しておくの良いものを記載します。エノール型→ケト型への転移、アセトンのヨードホルム反応、シス-2ブテンへのトランス付加、フルクトースの構造式等です。まずは基本が大事です。教科書に書いてあることはしっかり理解しましょう。

地理は、地図帳に大事な知識をまとめると復習しやすいです。

試験当日の感想やエピソードなどあれば教えてください。

試験前日はよく寝ましょう。医学部受験は倍率が高く、受験生の多さに圧倒されてしまいますが、これまでやってきたことを信じていきましょう。私は1浪しているので、試験慣れしていて当日はあまり緊張しませんでした。

受験生に言うのは酷ですが、運も大切です。試験前に見ていた内容がそのまま試験にできることもよくあります。そのため、私は当日に何を復習するかも考えておきました。

受験全体を振り返っての感想をお願いします。

受験期間は我慢の連続です。多くのストレスに対処しながら、先の見えない不安と戦うのが受験です。私は、現役で受験に落ちたことをきっかけに、浪人中も毎日頑張ることが

できました。1年は長いようで短いです。1日で何ができるようになったか自分に問いかけて、1歩ずつ成長できたらいいと思います。

受験生に向けてメッセージをお願いします。

医学部受験は、どの大学も難関です。早期に受験勉強へ取りかかることが重要となります。

特に地方に住んでいる学生は、都会の有名な進学校の学生との競争になり、地方に

いるだけで幾分不利な戦いとなります。そのため、周りの先生や、インターネットを通して情報を入手していきましょう。最後は気持ちの勝負です。自分の心の思うままに医師への道を切りひらいていってください。

全部気持ち



● **昭和大学医学部合格** 内藤 慶志さん (沼津東高校卒)

● **得意科目: 化学** ● **苦手科目: 英語**

医学部を目指したきっかけは何ですか？

高校2年生の秋、サッカーの練習中に右膝の前十字靭帯と半月板を損傷しました。

諦めかけていた時、主治医による2回にわたる丁寧な手術と術後のリハビリによって、予定よりも8ヶ月ほど早く完治しました。最後

のインターハイにも出場することができ、とても感謝しています。その恩を忘れず今度は自分の番だと思い、医師になることを決断しました。

おすすめの勉強方法や、心がけた点など教えてください。

自分は高校時代、週5~6回活動がある部活に所属していたこともあり、他の医学部受験生と比べて、受験勉強の時間を確保できませんでした。そのため、基礎がしっかりと定着していない状態で受験を迎えることになってしまいました。

基本に立ち返ればよかったものの、入試

問題や応用問題をひたすら解いてしまいました。それが現役時代の敗因です。

浪人してからは予備校に通いました。とにかく基礎を徹底すること、授業中に先生の言ったことを全てメモする、休む時間を作らない、休み時間もひたすらに勉強する、そういった積み重ねが合格への一歩となります。

試験当日の感想やエピソードなどあれば教えてください。

とにかくみんなが解けそうな問題を落とさなければ、合格できると思っていました。

実際に稀有な問題を解けるかどうかは、合否に直接関係はないと思います。解けそ

うな問題をしっかり解くのは、意外にも難しいことです。普段の演習時からタイムアタックをして、緊張感のある状況で最善のパフォーマンスを出せる練習をしてください。

受験全体を振り返っての感想をお願いします。

秋口頃になると不安でいっぱいになると思いますが、やり続けた者だけが栄冠を手にするでしょう。

なぜ医師になりたいかを忘れずに覚悟を持って取り組めば、ペンは止まることはありません。

受験生に向けてメッセージをお願いします。

自分はスタート時点は成績が低かったですが、しっかりと医学部合格という目標を掴む

ことができました。根性論になりますが、やり続けてください!!

医学部受験は文字通り 人生が変わる



● **日本医科大学医学部合格** 古屋 海凧さん (加藤学園高校卒)

● **得意科目:** 化学 ● **苦手科目:** なし

医学部を目指したきっかけは何ですか？

子供の頃に見たドクターヘリをきっかけに、医師に憧れを持つようになりました。

おすすめの勉強方法や、心がけた点など教えてください。

最適な勉強法は人によって異なるため、早いうちからたくさん勉強して自分の型を身につけるのが良いと思います。受験勉強を開始する時期、勉強量は非常に重要です。大学に入学後、友人に受験の話を知ると、ほぼ例外なく中学3年生の時に高校範囲の

授業が始まっていたようです。医学部受験で戦う相手はそういう人達です。現在、受験勉強のペースで負けているのなら、圧倒的な質と可能な限りの量で取り戻すしかありません。

試験当日の感想やエピソードなどあれば教えてください。

全員が万全の準備をしてきた中で、医学部合格という狭き門を目指す経験はとても面白かったです。

受験全体を振り返っての感想をお願いします。

良くも悪くもとてもマイペースに勉強していたため、ネガティブな感情はほとんどありません。クリスマスや年末年始などの過ごし方は、よく受験の話題に上がると思いますが、数日

休んだところで結果は変わらないと感じました。自分を追い詰めずに勉強できたのが功を奏したと思います。

受験生に向けてメッセージをお願いします。

自分が持つエネルギーを受験の今、全て出し切って下さい。医学部入試の会場は独特な緊張感で包まれています。その場にい

る全員が人生を賭けて試験に挑むのです。それを面白いと思えるように、十分な学力をつけてください。応援しています！



息抜きは大事!

●川崎医科大学医学部合格 五十嵐 慶さん (加藤学園暁秀高校卒)

●得意科目: 化学、数学 ●苦手科目: なし

医学部を目指したきっかけは何ですか?

私が医学部を目指したきっかけは父親が医師であり、幼い頃からずっと父の働く姿を見ていたことです。医学部を目指し始めたのは、高校1年生の終わり頃でした。

おすすめの勉強方法や、心がけた点など教えてください。

私は、二浪して医学部に合格しました。浪人を経験して得た勉強方法や受験勉強中の生活などを自分なりに伝えます。

まず、得意だった化学からです。化学においては、なぜその反応が起こるのか、逆に言えばなぜその反応は起こらないのかなどをしっかりと考えることが必要です。漠然と捉えるのではなく、基本的な知識から考えていくことが大事です。

数学・物理は予備校、塾に行き、授業を聞くと、新たな学びが得られると思います。そこで理解できた解き方を違う問題などで活かせるように復習することが大事です。

英語は、最低限システム英単語などの単語はすべて覚えましょう。その後、過去問を解いていく時に医療系単語が出てくると思いますが、それはその時に覚えれば十分だと

思います。医学部だからといって、医療系の文章が全てではありません。また、わからない単語は前後の文章を読んで推測する練習も大事です。

そして、私が一番大切だと思っている生活面について伝えます。医学部合格に向けた勉強は信じられないくらい大変だと思います。そこで大事なのが息抜きです。勉強ばかりしていると遊びたくなると思います。受験生だから…などと考えてしまい、勉強を優先する人が大多数だと思います。それでも勉強に集中できる人ならいいと思いますが、私は一日中勉強することは大変だったので、散歩したり、音楽を聴いたりなどして気分転換をしていました。ここで大事なことは、休憩時間は多めに取らないことです。しっかりメリハリをつけてやることが重要だと思います。

試験当日の感想やエピソードなどあれば教えてください。

受験当日はやはり緊張しました。ただ、緊張しすぎると自分の力を最大限出せないの
で、適度に緊張しつつ、自分で気持ちを抑
えていました。受験当日までにその点の練習もしておいた方がいいと思います。

受験全体を振り返っての感想をお願いします。

受験生活はとても大変なものでしたが、同じ予備校で仲間を作ることで、一緒に頑張れたと思います。受験では友達
の存在は
とても大事です。一緒に高め合える仲間を作ることで、自分の勉強に隙を作らないことも意識できます。

受験生に向けてメッセージをお願いします。

これから皆さんが挑む医学部受験というのはとても厳しく、大変なものであると思います
が、諦めることなく、努力を続けてください。
結局、最後まで努力できた人が受験で勝ちます。メリハリをつけて受験勉強を頑張ってください。

自分との戦い



●川崎医科大学医学部合格 福田 智志さん（日本大学三島高校卒）

●得意科目：数学

●苦手科目：古典

医学部を目指したきっかけは何ですか？

親族に医療従事者が多かったことです。

おすすめの勉強方法や、心がけた点など教えてください。

医学部の試験はレベルが高く、難しい問題がよく出題されるので、医学部受験生は難しい問題集を使用して勉強してしまいがちですが、基礎ができていないと、いくら難しい問題を解いても理解することができないと思っています。実際に、私は、数学は白チャートから始めましたし、化学はセミナーを使用して勉強していました。まず基礎を完璧にしてから難しい問題を解いていくのが一番効率よく理解することができると思っています。

集中力がきたら、違う教科の勉強をしました。例えば、暗記系の英語の勉強が疲れたら、数学や化学の計算問題をするなどして、気持ちをリフレッシュしました。

受験は、自分との戦いですが、同じ志を持つ塾の友人と競い励まし合いながら勉強をしたことで、勉強に対するモチベーションを維持することができました。良きライバルを作り切磋琢磨することも重要だと思います。

試験当日の感想やエピソードなどあれば教えてください。

自分なりの緊張をほぐす方法を見つけておくことが大切だと思います。受験は1点の差で合否が分かれるため、どうしても緊張してしまいます。推薦入試では緊張が原因で失敗してしまったため、一般受験の際は、緊張

しないように心掛けました。他の受験生達も同じ思いで受けているのだから大丈夫だと自分に言い聞かせたり、昼食後に、普段どおりお菓子を食べて緊張を和らげました。

受験全体を振り返っての感想をお願いします。

受験生時代が一番辛い時であると思いますが、真剣に取り組んだ姿勢が、大学の

学びの土台となり糧となります。

受験生に向けてメッセージをお願いします。

一年浪人してしまったのですが、この一年間は、本当に辛かったです。しかし、一年間頑張ることができたので、自分に自信を持

つことができました。この経験は、一生の宝物です。

理系は数学が肝心



●自治医科大学医学部合格 新榎 啓さん (加藤学園暁秀高校卒)

●得意科目: 化学 ●苦手科目: 数学

医学部を目指したきっかけは何ですか？

医学部を目指したのは、小学生時代から医学に関心があったからです。小学生時代の自由研究では、唾液腺について調べまし

た。それ以降、医学についての書籍を読むことが楽しくなり、暇さえあれば読むようになりました。

おすすめの勉強方法や、心がけた点など教えてください。

数学については、学校の先生が出してくださったプリントを解きました。英語については、単語力は「鉄壁」を用いて、速読力は共通テストの過去問を解くことでつけました。理科については、物理は学校で配布された参考書や過去問を解きましたが、化学は主に教科書を熟読しました。

しかし、後悔していることがあります。それは、どの教科料においても、完璧にやりこんだ参考書がないことです。そのような参考書がないことは受験期の自信のなさに直結します。各教科の単元を網羅している自信がないため、「苦手と意識する単元以外にも苦手な分野があるのではないか」と考えてしま

い、自分の実力にブレない自信を持ってませんでした。

数学については、もっと早く取り組むべきだったと痛感しています。基礎的な計算力や数学的な思考力・センスは、問題を解かないと養われないので、いかに多くの量と質をこなすかが重要です。その点、自分は数学の実力が不安定なまま高校三年生になってしまい、最後まで遅れを取り戻すことができませんでした。

したがって、受験において完璧にやりこんだ問題集を作ることと、特に数学は三年生になるまでに、完璧にすることが重要だと考えています。

試験当日の感想やエピソードなどあれば教えてください。

試験前日は眠れないことも多いです。しかし、とりあえずベッドに入って目をつむりましょう。それだけでも体力は回復します。

試験当日は周囲の人が気になってしまいます。呼吸や鉛筆を置く音、紙をめくる音など、

ほんの些細なことでも緊張によって過敏に反応してしまいます。普段から環境に左右されずに勉強できる精神力をつけることをお勧めします。

受験全体を振り返っての感想をお願いします。

受験を終えてみると意外にあつという間だったと感じています。確かに辛いこともたくさんありますが、一緒に努力できる友達を見つけて、切送琢磨すると意外と辛いことも楽

しめることがあります。それほどまでに友達存在は大きく、隣にいただけで心の支えになってくれました。しかしもっと努力できたその後悔することはたくさんありました。

受験生に向けてメッセージをお願いします。

受験が近づくと模試の結果や過去問の点数で不安になりますが、過度に不安になってばかりでは勉強も手につかないので、不安な

時こそ冷静になることを心がけましょう。最後は気持ちです。頑張ってください！

受験にフライングはありません



●自治医科大学医学部合格 宮地 永さん（磐田南高校卒）

●得意科目：物理、化学 ●苦手科目：英語

医学部を目指したきっかけは何ですか？

兄が医師を目指しており、自分も興味を持つようになりました。その後、高校で実際に医師として働く先輩のお話を聞いた時に、詳

しい仕事の内容ややりがい聞き、自ら医師となって社会に貢献したいと思うようになりました。

おすすめの勉強方法や、心がけた点など教えてください。

特に二つのことを意識して勉強しました。一つ目が、喋るということです。皆さんは「勉強=問題をたくさん解くこと」と思いませんか。私はそれだけでは医学部に合格できるだけの学力を手にはできるとは思いません。「この専門用語の意味を正確に説明できる。」や、「この問題で何を問われていて、どうやって解答するかを説明できる。」といった言語化する能力がとても大事だと思っています。例えば、物理の専門用語である「電位」の意味を正確に説明することはできますか。電気回路の問題では、ほぼ毎回問題文に出てくるのに、この言葉の意味を説明できる人は、多くはないと思います。説明できないのに、問題ばかりを多く解いているのは、大変危険です。なぜなら、医学部を含む、最難関レベルの大学の入試では、受験生が曖昧にしているであろう分野の本質が問われるからです。典型問題の解答の暗記だけで

は、医学部の入試を乗り切ることはできません。自分の勉強法を見つめ直し、人に説明できるまで理解するということを意識して勉強してみてください。

二つ目が、記録するという事です。受験勉強している中で、自分が成長できているか不安になることが多いと思います。私は、特に夏休みなどの長期休暇に、勉強はしているつもりでも、時間だけが過ぎ、どこを成長させられただろうと思うことがありました。そこで、寝る前に一日の振り返りを行い、できたこと、できなかったことや復習が必要なところを記録する習慣をつけました。このことにより、得意な分野は、試験前に復習するだけにし、苦手な分野は、時間を費やし、できるようになるまで勉強するというように、効率化できるとともに、自分のしてきた勉強に自信を持てるようになりました。

試験当日の感想やエピソードなどあれば教えてください。

共通テスト当日は、現役時代の会場と同じだったこともあり、あまり緊張しませんでした。結局は国公立大を受験していないので、共通テストの点数を使うことはなかったのですが、目標点を上回ることができ、自治医科大学の試験への弾みになったと思います。本番では、模試などと違い、教科間の時間が長いです。私は、極力一人になれる場所を見つけ、音楽を聴くなどして、リフレッシュするようにしました。できるだけ次の教科に向けて疲労を残さないようにしましょう。

自治医科大学の一次試験は、共通テストの一週間ほど後にあります。静岡県庁で行われ、一日目の学科試験を通過した人が、二日目の面接を受けられます。学科試験は、マーク式で共通テストの上位互換という感じでした。時間的な余裕はなく、難しい問題

は飛ばすなどして、できる問題を優先的に解くようにしました。面接は、一般的な医学部の面接という印象でした。二次試験は、栃木県にある自治医科大学で、集団面接と個人面接、学科試験が行われます。集団面接は、お題に対して自分の意見を出し合うという形式でした。（ちなみに私の時のお題は、医師の働き方改革についてでした。）人間性や論理力を見られているように感じたので、他の人が話している時の姿勢や、お題に沿って話を膨らめていくことを意識してやりました。私は、学科試験の数学と英語の出来が決まっていると言えるものではなく、正直受からないと思っていました。しかし、こうして合格をいただくことができたので、二次試験では、学科よりも面接のほうが大事だと感じています。

受験全体を振り返っての感想をお願いします。

一番大切なことは、勉強を習慣化することです。私は、受験期には一日約11時間勉強していました。合格者の中にはもっと勉強していたという人もいるでしょう。高3になる前では、一日10時間以上の勉強など想像

もできませんでした。しかし、浪人も含めた2年で毎日ほとんど勉強しかしない生活習慣がつかえました。受験にフライングはありません。早い時期から長時間勉強する習慣を身につけるべきだと思います。

受験生に向けてメッセージをお願いします。

医学部合格はそう簡単なものではありません。医学部に合格するためには何をしなければならぬのかを常に考えてください。そ

うすることで自然とやる気がみなぎってくるでしょう。後悔のないような時間を過ごしてください。応援しています！

静岡県が 徹底サポート!

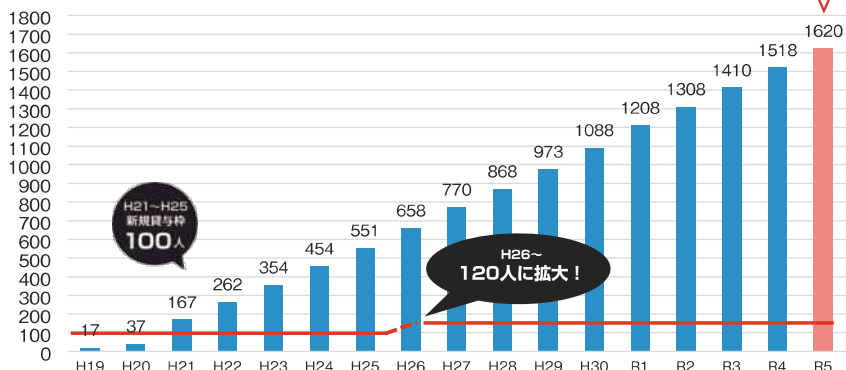
静岡県医学修学研修資金制度

制度の概要

貸与期間	原則6年間（正規の修業年限）
貸与額	月額20万円（6年間総額1,440万円）
返還免除 勤務期間	勤務義務：9年間（貸与期間の1.5倍の期間） 履行期限：16年間（貸与期間の2倍+4年）
貸与枠	【一般枠】入学後に県へ貸与申請し、書類審査・面接審査を経て貸与決定 （対象：全国の医科大学） 【大学特別枠】入学後に大学へ貸与申請し、大学から県への推薦を経て貸与決定 （対象）浜松医科大学、東京大学、東京医科歯科大学、名古屋大学、慶應義塾大学、 杏林大学、東京慈恵会医科大学、日本大学、日本医科大学、東京医科大学、 東京女子医科大学、聖マリアンナ医科大学、昭和大学、岐阜大学、京都大学、 国際医療福祉大学 【地域枠】貸与を受けることを条件に別枠入試にて出願→合格となった場合貸与決定 （対象：指定10大学）
診療科の指定	なし

※大学院生や専攻医を対象とした制度もあります。
（注）令和元年度以前に貸与を開始された方は、一部内容が異なりますのでご注意ください。

実績（令和6年3月現在1,620人が利用しています）



■ 医師多数区域
■ 医師中位区域
■ 医師少数区域・医師少数スロット

医学修学研修資金の県内勤務者数（令和6年4月現在）

東部			中部			西部			
圏域名	病院名	計	圏域名	病院名	計	圏域名	病院名	計	
賀茂	下田メディカルセンター	1	静岡	県立こころの医療センター	4	中東遠	中東遠総合医療センター	28	
	伊豆今浜病院	2		県立こども病院	10		市立御前崎総合病院	4	
	西伊豆健育会病院	1		県立総合病院	43		菊川市立総合病院	10	
熱海	伊東市民病院	3		静岡市立静岡病院	43		静岡市立総合病院	39	
	国際医療福祉大学熱海病院	1		静岡市立清水病院	7			公立森町病院	4
伊東	静岡医療センター	13		静岡赤十字病院	20		西部	公的医療機関等以外	3
	県立静岡がんセンター	11		静岡済生会総合病院	24			浜松労災病院	4
	沼津市立病院	19		静岡厚生病院	2			天竜病院	2
	中伊豆温泉病院	1		清水厚生病院	1			浜松医療センター	38
	三島総合病院	1		清水駿府病院	1			浜松市リハビリテーション病院	2
	沼津中央病院	2	公的医療機関等以外	5	国民健康保険佐久間病院	1			
	NTT東日本伊豆病院	1	志太 橋原	島田市立総合医療センター	16	浜松赤十字病院		12	
	聖隷沼津病院	3		焼津市立総合病院	15	JJA静岡厚生連遠州病院		15	
	順天堂大学医学部附属静岡病院	9		藤枝市立総合病院	27	聖隷浜松病院		39	
	田方	公的医療機関等以外	3	富士	富士宮市立病院	22		西部計	聖隷三方原病院
富士市立病院		2	共立蒲原総合病院		2	浜松医科大学医学部附属病院	131		
富士市立中央病院		14	富士市立中央病院		2	公的医療機関等以外	6		
鷹岡病院		2	鷹岡病院		2				
公的医療機関等以外		3	公的医療機関等以外		3				
東部計	114	中部計	218		西部計	371	合計		703名

※公的医療機関等以外は返還免除後の定着者等
※医師少数区域・医師少数スロット等は、今後変更になる可能性があります。

静岡県医学修学研修資金のよくあるQ&A

① 一般枠と大学特別枠、地域枠とはどんな貸与枠ですか？

- 一般枠：出身地、大学を問わず、国内の医学生等に対し、医学修学研修資金を貸与する制度です。大学入学後に県に貸与申請をしていただき、面接・論文審査を経て貸与を決定します。（対象：全国の医学部設置大学（防衛医科大学校、自治医科大学、産業医科大学を除く））
- 大学特別枠：一部の大学を対象に一定人数の貸与枠を設け、一般枠に優先して医学修学研修資金を貸与する制度です。入学後に大学へ貸与申請をしていただき、大学から県に推薦のあった方に、貸与を決定します。
- 地域枠：将来、県内の地域医療に従事する医師を養成するために設けられた大学医学部医学科の入学定員枠です。医学修学研修資金の貸与を受け、将来県内で勤務することを前提に大学に出願していただき、合格すれば貸与決定となります。

貸与枠によって将来の勤務条件等も異なります。

詳細については、ふじのくに地域医療支援センターホームページを御覧ください。



② 家計の状況に合わせて、例えば大学1年次から3年間だけ、医学修学研修資金の貸与を受けることは可能ですか？

医学修学研修資金は医学部在学中の6年間貸与の上、卒業後は9年間、県内で勤務していただく制度です。このため、特定の期間だけ貸与を受ける、ということではできません。

③ 家族の状況や所得による制限などはありますか？

家族状況・収入状況等による制限はありません。但し、貸与を受けるに際して2名（1名は別生計の方）の連帯保証人を立てていただく必要があります。（被貸与者が未成年の場合、1名は法定代理人）

※大学院生、専攻医の方を対象とする資金貸与については、制度の運用が異なります。